

野田市立岩名中学校陸上部 関係者の皆様

## 野田市立岩名中学校陸上部 第38回東日本女子駅伝大会結果報告

顧問 篠塚 弘明

寒さが急激に増し、冬の訪れが近づく今日この頃ですが、皆様にはお元気にお過ごしのことと存じます。日頃より、本校陸上部の活動に対してご理解、ご協力をいただき感謝申し上げます。

さて、過日行われました、第38回東日本女子駅伝大会におきまして、本校女子選手が千葉県チームの8区に出場しました。これもひとえに、日頃より本校陸上部を心から応援して下さる野田市、野田市教育委員会、野田市陸上競技協会をはじめ、本校の関係者の方々、本校陸上部のOB・OGの方々、公私ともにお世話になっている恩師、野田市の陸上・駅伝部の顧問の先生方、そして何より大きな支援をいつもいただいている岩名中学校の先生方、保護者の皆様方、地域の皆様方等沢山の方々の支えがあったからこそだと痛感しております。

下記に大会結果を記載させていただきました。今後とも、本校陸上部へのご支援、ご協力を賜りますようお願い致します。

### 第38回東日本女子駅伝大会 (福島県 「FTVふくしま」マラソンコース) 11/10~12

千葉県チーム 天羽 海乃 8区 9分39秒 区間3位 (3位中継→3位中継)  
総合4位 2時間20分05秒

夏の終わりに本大会の選考会が千葉県内で行われ、中学生からは補欠を含め3名が選ばれる事になっていた。夏の全国大会の女子1500mで5位に入賞している選手がおり、その選手は推薦選手ということですので内定を得ており、千葉県ユニフォームを着るためにはこの選考会で1位になることであった。

選考会には県内から有力選手が多数出場し、熾烈な争いとなったが、その千葉県内選考会は2位となり、残念ながら千葉県チームの補欠として福島の地へ参加することになった。

しかしながら大会1週間前に中学生区間を走る上位選手に体調不良があり、繰り上がりで急遽選手として福島の地を走ることとなった。

前々日の金曜日から福島入りし調整につとめ、千葉県選手団はそうそうたるメンバーで、高校生は千葉県高校駅伝で常に上位に入る成田高校の先輩方、大学生は過日の全日本女子駅伝大会で活躍した中央大の風間選手など実力者ばかりである。

千葉県チームは昨年準優勝を果たしているのでメディアからの注目も高く、戦前の予想では千葉・東京・宮城・埼玉の4強の争いと言われていた。

前日の競技場での最終調整、天羽自身はこの大会初出場であるので緊張感に包まれるところだが、本人はいたって冷静、普段学校で行っているような姿で最終調整を黙々で行うことができた。前日の刺激入れも寸分変わらずペース配分を刻み、千葉県のスタッフの先生

方からお褒めの言葉をいただいた。

そしていよいよ当日、競技場で10:45から第1点呼を受け、選手用の輸送バスで11:00に競



技場を出発し11:25に中継所に到着。12:00頃から中継所近くの車の来ない道路で集中してW-UP、W-UPが終わる頃にはとても集中した顔で、8月の関東大会に続き2度目の千葉県ユニフォームに気合いが入っているなど感じられた。13:20から最終点呼、千葉県以外の17都道府県の中学生選手がここで初めて集まったが、ひるむことなく負けてたまるかという気持ちが顧問にも伝わってきた。

ここからは当日のTV中継を振り返っていただいた方が早い気がするが、簡単に7区までのレース展開を振り返ると、1区は千葉がやや出遅れ11位スタート、2区で6位に上がったものの、4区の中学生区間で順位を落として8位。ここで5区の大学生風間さんが快走し、3位に浮上、ここまで宮城がトップ、2位が東京、3位が千葉と戦前の予想通りの展開となった。6・7区の高校生が前との差を少し離され8区天羽のところへ襷が渡った時は、先頭の宮城と1分31秒(約450m)、2位の東京と1分01秒(約300m)と大差がついての3位通過。

8区のコースは中盤の1.5km過ぎまで長い直線を最初の1kmはずっと緩やかに下り、国道115号線に入ってから残り1kmも緩やかに下るコース。前と大差となり1人単独走となったが、途中500m地点で顧問が声をかけた時は、緩やかな下りをテンポよくダイナミックに下って行く姿が見られ、これならば大丈夫という感じであった。



8区のコースは中盤の1.5km過ぎまで長い直線を最初の1kmはずっと緩やかに下り、国道115号線に入ってから残り1kmも緩やかに下るコース。前と大差となり1人単独走となったが、途中500m地点で顧問が声をかけた時は、緩やかな下りをテンポよくダイナミックに下って行く姿が見られ、これならば大丈夫という感じであった。

帰宅した後に録画したTV中継を見たが、たすきをもらうときも、渡すときもしっかりとTV中継に映り、中継アナウンサーからは彼女のエピソードもしっかりと紹介してもらい、指導者としては本当に冥利につきるという場面であった。そしてたすきは無事に9区のアンカーの実業団選手へリレー。大会前に本人と掲げた目標は、①千葉県の優勝に貢献する。②8区を9分30秒、区間3位以内と決めて大会に臨んだが、①②は残念ながら達成することはできなかつたが、③はしっかりと達成することができた。

アンカーの選手が逆転され、残念ながら総合では千葉県チームは表彰台を果たすことができなかったが、千葉県の4位入賞には大きく貢献できたといえる。優秀な先輩方に囲まれて有意義な3日間、「千葉県チーム」だったのでないかと思う。

今後は11/23(祝・木)に全国都道府県対抗女子駅伝(京都)の千葉県選考会が控えている。昨年度は選考会で力を発揮できず悔しい思いであったが、本人も今年こそは「京都を走る」覚悟でいる。選考会は東日本と同様で、1・2位が選手、3位が補欠となる。23日の選考会まで日はないが、今回の東日本女子駅伝での快走で自信が多いについたことと思う。明年1/14(日)の大会に千葉県チームの一員としてその勇姿を再び皆様方にお見せできるよう、顧問・選手とも切磋琢磨して臨む所存でございますので、より一層の応援のほどお願いいたします。

今後は11/23(祝・木)に全国都道府県対抗女子駅伝(京都)の千葉県選考会が控えている。昨年度は選考会で力を発揮できず悔しい思いであったが、本人も今年こそは「京都を走る」覚悟でいる。選考会は東日本と同様で、1・2位が選手、3位が補欠となる。23日の選考会まで日はないが、今回の東日本女子駅伝での快走で自信が多いについたことと思う。明年1/14(日)の大会に千葉県チームの一員としてその勇姿を再び皆様方にお見せできるよう、顧問・選手とも切磋琢磨して臨む所存でございますので、より一層の応援のほどお願いいたします。

